

「この町の人良さ」ミニ・エッセイ

皆さん、こんにちは古崎です。5月から8月末までの間で福島民報のエッセイコーナー「民報サロン」の筆者を務めていました。「読んだよ」と声を掛けていただく機会がありましたので、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。小野町に来てからの経験や発見は記事の内容に大いに生かされたように思います。

執筆しているうちによそ者目線で見えてくる地域の特徴や魅力をよりよく整理することにもなり、また新たに「この地域は人が良い」と言われるのはどういうことなのか分かったように思います。特にご年配の方が農作業を続けている姿から感じますが、地域の人には我慢強さや責任感があり、そ



のため他人の苦勞を自分のことのように分かります。人への思いやりが自然と湧き、優しさにあふれた行動や態度として表れてくるのだと思います。その様子が見る者に人が良いと感じさせるのではないのでしょうか。こういった人の良さが町の魅力の一つであるならば、全国へ広く知ってもらいたいと思います。

園に向かって歩いて来るおじいちゃんおばあちゃんのお姿を見つけると「ここは、僕の園だよ！いろいろな教えてあげるね」と、得意気に笑顔で駆け寄っていく園児たち。園児たちも楽しみにしていた祖父母参観が8月29日に行われ、一緒に記念撮影した後は、おじいちゃんおばあちゃんと歯科教室に参加しました。大きな口の中の歯を見ながら、歯の健康について歯科衛生士さんから話を聞きました。

「ジュースにこの位砂糖が入っています」と、3グラム入りの砂糖のスティックを7本見せられると、おじいちゃん、おばあちゃんからも驚きの声が聞かれました。また歯みがきのほかに①三度の食事の内容が歯を丈夫にする②一日の基本的な生活のリズムが大切である③大人が自分たちの健康を考え生活することがお子さんの歯の健康につながる、といった話に「健康が何よりパワーですね」と皆さん強くうなずいていました。そして、お弁当の時間。ちよっぴり甘えたり、頑張って苦手な野菜に挑戦する姿を見せたり、和やかな会食になりました。会の最後には「いつもありがとう」の心を込めて「じいじの好きなサンマ！」「畑で働くばあちゃんだよ！」と、子どもたちが絵を描いたカードに記念写真を添えてプレゼントしました。これからは「おばあちゃん一緒に歯磨こうよ」「おじいちゃん歯磨いたの」などのかわいい声が聞こえてきそうです。

浮金つつじ児童園  
祖父母参観

